

第 42 回 九州自閉症研究協議会 熊本大会

第二号通信・大会要項

ご挨拶

第 4 2 回の大会要項の案内に際して、ご挨拶を申し上げます。

はじめに、本大会のお知らせが例年に比し遅くなりましたこととお詫び致します。間際の案内になり、皆様のご予定にご無理を申し上げていることと思いますが、以下のごとく要項が決定致しましたのでご報告致します。

まず、一日目は開会式の後に基調講演を行い、その後に分科会 I と II となっております。終了後は場所を移して懇親会があります。その余韻の中、二日目は、教育講座 I と II を行い最後に記念講演をさせていただきますこととなりました。

さて、本会の開幕として基調講演を九州大学人間環境学科客員教授のスティーブ・クルーパー氏に「自閉症スペクトラム支援のベストプラクティス～TEACCH アプローチから～」の演題で講演を頂くことになりました。クルーパー氏はフェイスビル TEACCH センターでセンター長を勤めた後、現在は九州大学人間環境学科客員教授として日米で活躍されておられます。当日は翻訳を熊本県発達障がい医療センターの田中恭子氏にお願いしております。

分科会 I では、熊本地震で経験したことが将来、「先人の知恵」として活かされるよう、田中氏と坂口氏の二人の発表者からその経験や考えを聞き、中庭氏のコーディネートで参加者による御討議を期待しております。分科会 II では、コーディネーターの菊池氏を中心として、高等学校に通級指導教室が設置されるという特別支援教育が新たなる展開を迎えることを、織田氏と原田氏にそれぞれの立場からの取り組みをお話し頂き、よりよくそのシステムを活かしていけることを考えております。

二日目の教育講座 I では、福島氏に「強度行動障害支援の現場における連携の大切さ」を、教育講座 II では、伊津野氏に「発達障害のある引きこもり支援について」をレクチャーして頂くことになりました。いずれも、それぞれの分野で活躍されている第一人者であります。そして、本会の最後を不肖私が記念講演として「自閉症支援の未来～我々はどこへ行くのか～」と題して、医療・福祉・教育・就労の分野に様々な立場で関わってきた経験から学んできたことを次世代に向けてお話させて頂く予定です。

以上、内容に多少の齟齬があるかもしれませんが、ひとえに私の力不足によるものですのでご容赦頂ければ幸いです。しかしながら、その思いに齟齬はなく、大会運営におきまして本研究会の意義を大切にしていきたいと考えております故、皆様におかれましては、是非とも本大会にご参加頂けますようお願い申し上げます。

第 42 回・熊本大会 実行委員長 岡田 稔久

期 日：平成 30 年 3 月 3 日(土)～3 月 4 日(日)
会 場：熊本県立大学 講義棟 2 号館（熊本市東区月出 3 丁目 1 番 100 号）
主 催：九州自閉症研究協議会
後 援：九州山口四国自閉症施設協議会、熊本県自閉症協会
参加資格：自閉症児者の支援に関心がある方はどなたでも参加可能
定 員：200 名（定員になり次第締め切らせていただきます）
参 加 費：一般 5,000 円(1 日のみ 3,000 円) 学生 2,000 円
懇 親 会：熊本 和数奇 司館（熊本市中央区上通り 7-35 TEL 096-352-5101）
宿 泊：宿泊場所の確保は、各自でお願い致します。
申込締切：2 月 23 日(金)

基調講演

「自閉症スペクトラム支援のベストプラクティス」

～TEACCH アプローチから～

講師：Steve Kroupa 氏 (スティーブ・クルーパ 氏)

プロフィール

九州大学人間環境学科客員教授

前フェイスビル TEACCH センター長

臨床心理士

訳者：田中 恭子 氏

児童精神科医

熊本大学 神経精神科 発達障がい医療センター 特任助教

分科会 I

「熊本地震と自閉症児者の避難、防災について考える」

～被災後の生活はどう変化し、これから何が必要なのか～

発表者：田中 恭子 氏 熊本大学 神経精神科 発達障がい医療センター 特任助教

発表者：坂口 正浩 氏 熊本県自閉症協会 会長

コーディネーター：中庭 洋一 氏 なかにわメンタルクリニック 院長

分科会 II

「特別支援教育の今とこれから」

～教育から就労・自立に向けた取り組み～

発表者：織田 紗智子 氏 熊本中央高等学校 特別支援教育コーディネーター

発表者：原田 文子 氏 くまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター「縁」主任支援ワーカー

コーディネーター：菊池 哲平 氏 熊本大学 教育学部 准教授

教育講座Ⅰ

「強度行動障がい支援の現場における連携の大切さ」

講師：福島 龍三郎 氏 社会福祉法人 はる 理事長

プロフィール

平成 14 年 4 月「福祉作業所ハル」開所に伴い、同作業所所長

平成 18 年 5 月「NPO法人ライフサポートハル」

(のちに「NPO法人ライフサポートはる」に名称変更) 設立、同法人理事長

平成 28 年 7 月「社会福祉法人はる」設立、同法人理事長

NPO法人全国地域生活支援ネットワーク副理事

NPO法人佐賀中部障がい者ふくしネット副理事

佐賀市手をつなぐ育成会副会長

教育講座Ⅱ

「発達障がいと引きこもり、支援について」

講師：伊津野 晋平 氏 熊本市ひきこもり支援センター「りんく」所長

プロフィール

精神保健福祉士

熊本県若者自立支援ネットワーク会議委員

熊本県子ども・若者支援地域協議会委員

くまもと発達障害者雇用支援連絡協議会委員等を歴任され

現在、熊本市発達障がい者支援センター連絡協議会委員を担当

コーディネーター：浦田 裕之 氏 社会福祉法人 三気の会 時習館特別支援相談員

記念講演

「自閉症支援の未来 ～我々はどこへ行くのか～」

講師：岡田 稔久 氏 くまもと発育クリニック 院長

プロフィール

日本自閉症協会 副会長

熊本小児科同門会 評議員

自閉症児者を家族に持つ医師・歯科医師の会 副会長

ルーテル学院大学・大学院「障害者保健学特論」 兼任講師

A市就学支援委員会 自閉症・情緒障害部会部会長

B市障害者相互支援法 区分判定員

C入所・通所施設 嘱託医

D社会福祉法人 産業医

E市町村精神発達相談 委託医

参加申込み・お問い合わせ

- ・申込締切は **2月23日(金)** 必着です。
- ・別紙参加申込書にご記入の上、事務局まで **fax** もしくは **mail** にてお申込み下さい。
- ・参加費は受付の都合上、**振込みのみ**とさせていただきます。

お申込みからご参加までの流れは以下の通りです。

- 1.fax/mail 申込み後、事務局より参加券を送付致します。
- 2.参加券を受け取りましたら、参加費を下記振込み先まで振込んでください。
(振込み手数料は各自でのご負担をお願いいたします)
- 3.大会当日、参加券と引き換えに領収証を発行いたします。

【振込み先】

ゆうちょ銀行 普通預金 (店名) 七一八 (店番号) 718 (口座番号) 2017933
口座名義：九州・山口地区自閉症研究協議会

- ◆施設、学校単位でのお申込みの場合は、「**ご依頼人(おなまえ)**」は、**団体名のみ(例：〇〇園、△△支援学校など)** ご記入下さい。
- ◆ご記入いただいた個人情報につきましては、本大会以外の目的には使用いたしません。
- ◆振込締切は **2月28日(水)**です。

アクセス



【車、タクシー等】

熊本 IC から 約 4.5km
益城熊本空港 IC から 約 3.5km
阿蘇くまもと空港から 約 12km
JR 熊本駅から 約 8km

【バス】

熊本交通センター仮ターミナルから 16～20 番のりば
・都市バス「日赤、長嶺団地、月出」行
「県立大通り」又は「県立大学前」バス停下車徒歩 1 分
・都市バス「日赤、長嶺小学校前」行「日赤病院前」バス停下車徒歩 1 分
・産交バス「パークドーム」行「日赤病院前」バス停下車徒歩 1 分
・産交バス「戸島」行「日赤病院前」バス停下車徒歩 1 分

【問い合わせ先】

第 42 回 九州自閉症研究協議会 熊本大会 事務局
社会福祉法人 三気の会
障がい者支援施設 三気の里 (木下、松田)
869-1217 熊本県菊池郡大津町森 54-2
tel : 096-293-8100 fax : 096-293-8101
e-mail : info@sanki.or.jp